

テーマ	障がい者スポーツ
テーマ 設定理由	2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されるにあたって、パラリンピック競技の認知度が低いという点から、障がい者スポーツについての知識を深めるため。

◆期日

平成31年3月16日（土）～3月17日（日）

◆場所

静岡県立三ヶ日青少年の家（静岡県）

◆参加対象

リーダー、指導者

◆参加者（内訳）

	静岡県	愛知県	三重県	岐阜県	合計
リーダー	13名	11名	11名	14名	49名
指導者	2名	2名	1名	3名	8名
合計	15名	13名	12名	17名	57名

◆経費

参加料：リーダー1人あたり3,500円、指導者1人あたり4,000円

旅費：参加者負担

◆運営スタッフの体制・運営方法

開催県が運営準備、開催県リーダー・指導者が開催準備

◆日程

1日目：3月16日（土）	2日目：3月17日（日）
12：00 受付	6：30 起床・清掃・荷物整理
12：30 開会式・オリエンテーション	7：10 朝のつどい
13：00 講義 『障がい者スポーツの理念と意義等』 講師 大胡田 茂夫先生 (静岡県障害者スポーツ指導者協議会)	7：40 朝食
15：00 実技 『ボッチャ体験』	9：00 意見交換 『リーダー会での問題点と改善点』
17：30 タベのつどい	12：00 昼食
18：00 夕食	13：00 発表
19：00 グループワーク 『障がい者スポーツと普通のスポーツ の違い』	14：00 閉会式
20：30 発表	

◆プログラム概要

1. 講義

「障がい者スポーツの理念と意義等」

大胡田 茂夫先生
静岡県障害者スポーツ指導者協議会

概要

「身体障害者の区分
障がい者スポーツの魅力
障がい者スポーツの理解
障がい者スポーツの課題と意義」



◆プログラム概要

1. 講義

・リーダーの感想

「障がい者と障がい者スポーツについて知識を深めることができた。

障がい者について一般の人への理解がまだまだ足りない。」

・考えられる課題

「障がい者スポーツを支援する指導者やボランティア不足。

利用する施設のバリアフリー化。」



◆プログラム概要

2. グループワーク

「テーマ：障がい者と普通のスポーツとの違いはあるのか」



◆プログラム概要

2. グループワーク

・リーダーの意見

「使用する道具やルールはもちろん異なるが スポーツを純粹に楽しんだり、技を競い合う、という点では特に違いはないのではないか。

障がい者スポーツを取り巻く環境が充実していないため、一般社会になかなか浸透しない。」



◆プログラム概要

3. 意見交換

「リーダー会での問題点と改善点」

「それぞれの班で問題点を話し合った後にワールドカフェ形式で問題点の共有を行い、各班でそれらの問題点の中から2~3個程度ピックアップして、ピックアップした問題点に対する解決策を話し合い、発表した。」



◆プログラム概要

3. 意見交換

「リーダー会での問題点と改善点」

「東海4県のリーダーで話し合ったため
各県だけでは出ないような問題点が挙がった。

- ①東海それぞれでルールが違う
（スマホの使用・身だしなみ等）

ため、東海4県で行う行事には東海で共通の
ルールを決めるべき。

- ②下級生リーダーの育成・引き継ぎ。
- ③リーダーとしての自覚のなさ
（挨拶をしない、返事がない等）。」



◆大会を開催した成果、反省、課題

成果

「2020年に行われるパラリンピックに向けて、障がい者と障がい者スポーツについて知識を深めることができた。

ボッチャという競技を認知でき、みんなで楽しむことができた。

東海4県でリーダー会での問題点を話し合うことで問題点や解決策を共有できた。」

反省

「リーダーとして基本のこと（挨拶・返事・10分前行動、5分前集合等）ができていなかった。

講義をしてくださった静岡県障害者スポーツ指導者協議会へ今回開催したリーダー研究大会の目的を詳細に伝えられなかったため、講義内容のすれ違いが起きてしまった。」